

令和三年度 学校通信 根石だより

令和三年十月十一日

岡崎市立根石小学校

虹



10月号



笑顔の花、満開になあれ

校務主任補佐 斎藤 優亜子

新型コロナウイルスのデルタ株により、小中学生の感染者が増える中、愛知県では、再び緊急事態宣言が出されました。岡崎市では、学級を二つに分け、オンライン授業と対面授業を同時に行うハイブリッド式が実施されることになりました。本校でも八月末の三日間で、各家庭にタブレットを配付し、ネット対応の環境作りや連絡のやりとりの仕方について、お願いをさせていただきました。急なお願いにもかかわらず、早急に対応してくださり、初めてのオンライン授業を実施することができました。保護者の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

授業に参加した様子が分かったりすると、まるで子供たちと一緒に過ごしているような温かな気持ちになりました。今は、全員登校ができるようになり、緊急事態宣言もようやく解除されました。まだまだ気を抜くことはできませんが、子供たちが楽しみにしている、本の貸し出しやふれあい読書が再開されました。また、体育学習発表会の練習も始まりました。子供たちからは「先生、今日の本、すごくおもしろかったよ」「先生、お兄ちゃんのソーラン、みんなで見られるね」「やっぱり学校、好き。楽しいこといっぱい」など、うれしい言葉がたくさん聞かれます。我慢しなければならぬことがなくなったり、喜ぶが増すこともありますが、これからも、感染症対策に十分配慮しながら、楽しい学校生活を送り、子供たちの笑顔の花を増やしていきたいと思えます。

根石の花鳥風月

カ ショクブツ カジツ ソウショウ
ドングリ(ブナ科の植物の果実の総称)

にほん
日本のいたるところにあるドングリの木。古くから、
どうぶつ
動物だけでなく、にんげん
人間の食料などにも利用されてきました。
じょうもんじだい
縄文時代の遺跡からは、ドングリを保存していたあと
も見つかっています。クリの実はもちろん、地方によって
は、けんざい
けんざい
現在のシイの実などを食用にする文化があります。

ドングリは、「たね」ではなく「果実」です。

ねいししょう
根石小の校庭にも、クヌギ、マテバシイなど、多くの
しゅるい
種類のドングリの木があります。



クヌギ



コナラ

ドングリっていろいろな種類があるんだね。



アベマキ



マテバシイ

9月の根石っ子あれこれ

分散登校・オンライン授業



9/1から分散登校にて学校再開。2学期の授業は、オンラインと対面授業のハイブリッドでスタート

しました。

それぞれのご家庭の協力のおかげで、オンライン授業も何とか進めることができました。

9/13から、ようやく全員登校となりました。

岡崎市小学校水泳大会が、分散会場にて行われました。根石小のプールでも、水泳部が全力でトライしました。



市水泳大会（南ブロック）

○6年100m自由形(女子)

優勝 柴田 奈那 さん

○6年100m自由形(男子)

2位 荻野 暖万 さん

おめでとう！！

市球技・陸上大会

6年生にとって最後の大会。全員一丸となつてのぞみました。

○男子バスケ 北ブロック 優勝

○陸上

男子走高跳 2位 6年 鈴木 啓太 さん

女子走高跳 2位 6年 鈴木 彩月 さん



※新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、学校行事等を中止や延期をしなければならない状況となり、皆様には、ご心配、ご迷惑をおかけしております。今後も、感染症の拡大状況によって、学校行事等の変更、中止があります。ご理解とご協力をお願いいたします。

根石っ子の生活

ぜんいんとうこうにもどって

一年松組 やまもと ひろし
ぼくは、ともだちにあうことができて、うれしかったです。あそぶとき、きゆうしよくをたべるとき、べんきょうをするとき、みんなといっしょが、たのしくて、だいです。

オンラインじゅぎょうのおもいで

一年竹組 いたくら なつき
わたしは、ごりんマークをつかったことがおもしろいので、このことをいいます。さいしょは、できるかふあんだったけど、せんせいはなをしをしっかりといたら、たのしくなってきた。じょうずにつくることができました。みんなのかおはみられなかったけれど、スタンプをおしてかくにんしあえたので、みんなといっしょにいるきもちになりました。

ぜんいんとう校にもどって

二年雪組 櫻井 悠輔
ぜんいんとう校にもどってよかったです。そのわけは、クラスぜんいんでじゅぎょう

をして手をあげたり、みんなとたくさん話ができた。長ほうかに校庭でドッジボールをするのが楽しいからです。

みんなが学校に来るようになって

二年梅組 尾野 友汰
全員で学校に来るようになってうれしかったことは、友だちと会えたことです。いろいろなことを話したいなと思いました。

これからがんばりたいことは、算数のじゅぎょうです。また、かん字をもっといいねい書けるようにしたいです。どうとくもがんばってほしいです。
二学きも、みんな楽しんでほしいです。

二学きのじゅぎょう

三年竹組 奥山 華穂

わたしが二学きのじゅぎょうでがんばりたいことは、体育です。とくに、運動会のリレーをがんばりたいです。チームのスタートを走ることになったので、竹組が一位になれるようにがんばります。おかげさまで、子どもががんばりたいです。きれいでかわいいチョウが作れるようにがんばります。チョウにかざりをつけることがとても楽しみです。

コロナでできないこともあるけど、二学きも元気ががんばっていきたいです。

オンラインじゅぎょうの感想

三年梅組 渡邊 清

オンラインじゅぎょうは、ほとんどふべんではなかったけれど、みんなと一しょに登校したかったと思う時がありました。

オンラインの分さん登校と、みんなあつまる全員登校。わたしは、全員登校の方が、みんなに会えるので好きです。オンラインじゅぎょうは、タブレットごしにみんながあつまっているの、さみしくなります。いつまた、オンラインじゅぎょうになってしまいかわらないので、しっかりとせんたいさくをして、元気に生活したいです。

全員登校になって

四年松組 鈴木 理梨香

全員登校になってから、分散登校中に登校日がちがった友達と会えてとてもうれしかったです。全員登校が始まってからは、教室のみんなとエスワンやはく手りレーなど全員がそろわないときない遊びをすることができて、とても楽しみです。

PTAワンサポ活動

7月19日、64名の保護者の方（1家庭1名）がワンサポ活動（1場所、高側な危険な場所）で、窓や、窓のふき掃除をしました。暑い中、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

わたしはやっぱり全員登校が好きです。みんなそろって、声がたくさんで活気があり、明るく感じます。二学期もクラスみんなでたくさん遊びがしたいです。

オンラインじゅぎょうを通して思ったこと
四年梅組 橋本 梨花
わたしがオンラインじゅぎょうを通して良いと思ったことは、通学時間がなくなった分、自分の時間がふえたことです。それによって、大好きな本をたくさん読むことができ、家にも朝の読書を楽しむことができました。けれど、残念なこともありました。それは、友達と会えなかったこととチームズに参加できず、じゅぎょうが進んでしまったことです。初めてのオンラインじゅぎょうは楽しく取り組みむことができましたが、通常登校となり、みんなと生活することができて、よかったです。

六年生のすがたを見て

五年松組 近藤 咲夢

今年はコロナウイルス感染症のえいきょうで、思うように部活の練習ができませんでした。でも限られた中で精一杯練習し、部活動げきれいな会でも決意の言葉を述べていた六年生の姿を見て、とてもかっこいいなと感じました。そんな六年生に、思いが少しでも伝わればと、部活動げきれいな会では心を込めて、在校生代表の言葉を伝えました。六年生は私たちのあこがれです。

そして、いよいよ今度は私たちが部活動を引っ張っていかなくてはなりません。六年生のみなさんがしてくれたことを胸に、がんばりたいです。

リモート授業で気づいたこと

五年竹組 田中 叶夢

リモート授業はいつもの授業と変わらないと思っていました。ただどうも映像が動かなくなったり、声が急に消えてしまったりといういろいろの問題がありました。そんな中でも、アプリの使い方やタブレットの仕組みをより知ることができたし良い機会だったなと思います。

最初は家で授業を受けられる

ことが楽しみだったけれど、友達と話すことができなかつたり、遊ぶことができなかつたりしたので、つまらなく感じるようになりました。リモート授業のおかげで、「みんなが学校に集まってする授業は当たり前ではなく、楽しいことなんだ。」と気づくことができました。

お昼ごはんの相談

五年ゆめ組 田中 大地

ぼくは、いつも、「今日のお昼ごはんは、どうする。」と聞きます。それは、メニューが決まらなからです。決まらなくて、いつもお母さんと相談します。

そんなとき、ぼくは、たいてい「カレー。」と言います。カレーが大好きだからです。

お母さんは、「えー。またカレー。」と言います。でも、作ってくれます。

作ってもらったカレーをおいしく、感謝しながら食べたいと思います。

あきらめない気持ち

六年竹組 大谷 悠緋

九月二十九日、小学校最後の部活動の大会が行われました。ぼくがキャプテンを務めるソ

フト部では、これまで、大きな声であいさつをすることや礼儀正しくすることを心がけてきました。また、キャッチボールなどの基そ練習でも、努力を惜しまず取り組みました。

「練習の成果を発揮しよう」と意気込んで臨んだ大会本番。十八対で負けていましたが、最終回の二アウトになっても、だれもあきらめていませんでした。最後の最後まで、全力を出し切ることができました。このメンバーで試合ができてよかったです。

ぼくは、部活動を通して「あきらめない気持ちの大切さ」を学びました。これからも、この学びを生かしていきたいです。

最高の仲間と共に

六年松組 齋藤 雷仁

部活動で初めて経験したバスケットボール。ルールも何もかも分からなかったぼくが、ここまで頑張ってきたのは、最高の仲間のおかげです。

コロナウイルス感染症の影響で部活が満足にできない中、最後の大会があるのか心配でした。大会が行われると決まった時は嬉しかったです。

大会に向けた少ない練習時間

を集中して取り組み、先生方にもほめてもらえることが増えて自信ができました。

大会前夜は少し緊張していたけれど、当日、コートに立った時は信頼できる仲間がいたので安心してプレーすることができました。

最後の大会で優勝できた事はぼくにとって最高の思い出になりました。先生、バスケットボール部の仲間、ありがとうございます。

10月行事予定

4(月)委員会

5(火)山の学習説明会①②
修学旅行説明会③④

6(水)防災訓練

7(木)全校朝会(放送)、
一斉下校

9(土)理科作品展

11(月)クラブ

14(木)一斉下校

18(月)委員会

21(木)一斉下校

22(金)体育学習発表会準備
部活なし

23(土)体育学習発表会

引き渡し訓練、標準服ハサ-

28(木)後期委員長任命式
一斉下校